



2024年 4月 1日 第27号
障害者の社会参加、自立・外出支援



〒302-0022 取手市本郷5-4-21
TEL/FAX 0297-73-8361
(平日 10:00~15:00)

ikiru7228@gmail.com
<http://npoikiru.stars.ne.jp/>
<https://www.facebook.com/npoikiru>

ごあいさつ

理事長 染野 和成



新年度に当たり、この1年間の活動内容をお知らせする会報をお届けするにあたり、当法人よりひと言ご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては日頃より当法人の活動に對しましてご協力ご尽力をいただき、誠にありがとうございます。ここ数年来の流行していたコロナも昨年5月には5類に引き下げられ、まだまだ感染には各自予防に徹する必要性はありますが、以前のような生活が戻ってきたように思います。昨年の当法人の活動をみても、コロナ流行以前の状況に戻りつつあります。

この1年間のそれぞれ活動内容はこの会報に記しておりますので、御覧頂きたいと思いますが、中でも移送サービスのドライバーさん数名が市からその功績が認められ、感謝状が贈られたことや、新年会が4年ぶりに開催され、みなさんと顔を合わせられたことをうれしく思いました。また当法人の活動の一環で市の関係機関や当法人の友好団体からの招聘で各種委員会に手分けして出席し意見を述べる場をいただき、相当数の会議に出席を重ねました。それだけ当法人が周りとの関係団体の連携が強化できたかなとも思っています。もちろん、私たちの活動は会員の皆様方の力に支えられているからこそ活動が続けられたことも忘れることはできません。これからも重ねて引き続きご協力とご尽力をお願いして、簡単ながらごあいさつとさせていただきます。

末筆ながら皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

ご存知ですか？

健康保険で在宅マッサージが受けられます！

お問い合わせ、ご相談などお気軽にご連絡ください。

オリエンタル治療院

〒301-0041 茨城県龍ヶ崎市若柴町 2183-9 TEL 0297-65-0985 FAX 0297-65-3323

創立20周年

令和6年度はNPO法人活きるを平成17年2月に創立して20年という区切りの年です。細々とですがよく続けました。最初の活動はNPO法人活きるを周知してもらうためにイベント開催が主でした。創立記念講演に横浜から重度の障害のあるすがやあゆみさんを招聘して「障害はブランド」というタイトルで社会参加、就職について語ってもらいました。そして「夏の日1993」という曲で一世を風靡したclassの津久井克行さん（故人）がコンサートに来てくれました。その時に司会をしてくれたのは女の60分に出演していたクロコさん（故人）で大物有名人が手弁当で協力してくれたのでした。とても、幸先の良いスタートになりました。設立目的は障害者支援だったのですが具体的な計画がなく、とりあえず福祉交流センターのエレベーター裏に机を置かせてもらって体が不自由な人を対象に生活相談コーナーを設置したのです。その後、市が管理している郵便局の前のビルの一隅を無料でお借りして事務所として利用し、移送サービスを始めたのです。会員も増えいろんな活動を始めましたが、基本的に制度の中での活動はしないということを決めていたので、NPO法人活きるしかできない障害者支援を始めたのです。



当事者会員向けに福祉サービスの隙間を埋める活きるサポートというグループで日常の介護や楽しみを提供しました。当時はまだ障害福祉サービスは充実してなかったのも、とても喜ばれました。また、社会福祉協議会と協働して地域の困っている障害者の支援をボランティアで支援しました。特に力を入れたのは途中で障害者になって閉じこもっている方に社会参加を促す活動を始めましたが、これはなかなか困難でした。

その他に余暇活動として電車でGOとバスハイクという遠足を毎年開催して今に至っています。そして力を注いだのが障害者スポーツです。当初は多くの病院のセラピストが協力してくれていろんな競技をしたのです。今はチャレンジの広場として活動を継続し、卓球バレーという競技で国体（全国障害者スポーツ大会）に参加しました。

設立20年を機に今後の事を考える時期に来ています。主要メンバーは高齢化で積極的な参加が困難になり、後継者のことも考えなければいけません。移送サービスは350人ほどの利用者がいるので簡単にはやめられない状況なので、理事会で話し合いを継続していきます。

20年も継続できたのは多くの方のご支援ご協力があればこそです。今後ともNPO法人活きるの活動に応援をお願いしたいと思います。

バスハイク

2023年5月28日

バスハイクは車椅子で行くことが困難のところを選んで開催しています。コロナ禍でもバスハイクだけは続けていました。

今年は大洗水族館（正式名称はアクアワールド茨城県大洗水族館と長い〜）に行ってきました。

いつものように障害者福祉センターあけぼのの福祉車両2台借りたのですが、所用や体調不良、車椅子の不具合などでレギュラーメンバー6名が不参加になってしまい、総勢10人の遠足になりました。

そのうち車椅子ユーザーが3人、知的障害の女性が1名の参加です。そのために、使ったあけぼのの車は1台と宮脇車の2台で行くことになりました。

9時半に交流センターを出発し、11時半に水族館着。福祉車両の駐車は入口の直近でした。

まずは腹ごしらえにフードコートに行ったものの満員で席がありません。みんなバラバラになって何とか食にありついたと思います。落ち着かない昼食を終え、館内に入ってのんびりと散策しました。バラバラの自由行動になってしまったため、写真があまりありません。イルカショーを楽しんだ方が多かったようです。すごく、のんびりと行動し、とてもいい時間を過ごしました。予定より早く水族館を出て、みんな楽しみにしているめんたいパークへ移動。

こちらも満員で、レジは長蛇の列です。支払いに15分くらいかかったでしょうか。でも、目的を果たしてご満足。

参加人数が少なくて、ちょっと寂しかったけど、行けたメンバーは日頃の忙しさを忘れ、良い非日常を過ごせたと思います。

移送サービス運転者講習会

2023年6月18日

取手社協主催で移送サービスのボランティア活動に参加するための講習会が2日間に渡って開催されました。

1日目は座学で移送サービスの基礎や利用者理解など活動に携わるための基礎知識の講義です。

2日目は実技を中心に運転技術、車椅子介助、乗降介助など移送に必要な技術の習得と試験です。



この中から、活きるに協力してくれる方が居ることを期待します。

●つくば講演会●

2023年7月13日

つくば市で障害者に関わる団体、個人で構成されたつくば市福祉団体等連絡協議会という団体の集まりに宮脇と阿部がお呼ばれしました。



その目的はとりで障害者協働支援ネットワーク（以下ネットワークという）が取手市が昨年からはじめたあいサポート運動にどのように関わったか、そしてネットワークと行政との関係をお話することでした。

まず、ネットワークの成り立ちをお話ししました。その中で設立にあたって中心になった村上さんの役割を聞いてもらいました。村上さんの発想と行動力のおかげでネットワークの今があるのは間違いありません。

次に阿部が鳥取県のあいサポート運動に興味を持ち、ネットワークの役員会で意見をまとめ、市障害福祉課にこの運動を取手市でやることを提案し、鳥取県と協定を結ぶために市とネットワークが役割分担して実現したことをお話ししました。

最後にネットワークが行政と良い関係に至るまでの苦労話をエピソードを交えて聞いていただき、共感をいただきました。みなさん、とても真剣に聞かれて多くの質問もあり、お話しさせていただいて、とてもいい時間を過ごせたことに感謝する次第です

荳崎ボランティア交流会

2023年10月19日

つくば市荳崎交流センターにおいて「しょうがい者と共に笑顔の街づくりをめざして」と題して、とりで障害者協働支援ネットワークから、宮脇と阿部が講師としてお話をしてきました。

この交流会は年1回開催されており、今回は「障がいのある人もない人も、大人も子どもも、お年寄りも、みんなが助け合ってともに暮らす、そんな街づくりのために取手市あいサポート運動の活動を学び、私たちが地域でできる事を考えてみませんか。」との趣旨で開催されました。

ネットワークの設立の背景やこれまでの活動、行政と良好な関係性を構築するまでの取り組みから、あいサポート運動の現状を説明しました。30人ほどの

参加者の皆さんからは熱心な質問をいただきました。終了後、「色んな会に声をかけて、1回みんなで集まって話し合いをしましょう」「鳥取と協定結べなくてもいいから、荳崎だけでボランティアを育てようよ、私たちが何かやろうよ」との声が上がったと聞いて今回の講演が一步踏み出すきっかけになったと思いきや嬉しくなりました。がんばれ！荳崎ボランティア連絡会の皆様。



感謝状贈呈式

2023年11月14日

11月14日に移送サービスに長年貢献されたボランティアさんに取手市長から各団体から9名に感謝状が贈呈されました。

NPO法人活きるからは逸見さん、石塚さん、武田さんの3人が贈呈対象になりました。

逸見さんは欠席、武田さんは残念なことに急逝されて奥さんに受け取ってもらいました。逸見さんは活きるが移送活動を始めた直後からの参加で18年間の長い間活動を支えてくれました。



福祉車両の更新

2023年10月28日

この度、新車を購入しました。アトレー・スローパーという車種です。



NPO法人活きるでは福祉移動サービスを展開していて、車椅子の利用者様も多くいます。その方たちの外出支援するために車椅子のまま乗れる車両は必須です。

初めて福祉車両を導入したのは24時間テレビから贈呈されたアトレーでした。財産のないNPO法人なので車を買う余裕など全くありませんでした。今まで使用していた車両はすべて団体からの補助や、好意による寄付で導入したものでした。そして、大活躍してくれた24時間テレビから贈呈された車両も12年経過して故障が多くなったので廃車し、共同募金会に車両整備助成を申請して受理されて、新たなハイゼットスローパーを導入しました。

今回導入したアトレー・スローパーは100%自己資金で購入したのです。車種や装備、車体色などすべて好みで決定したのです。貧乏NPO法人がコツコツと蓄えた自己資金で買った記念の車両です。きっと利用者様にも喜ばれる選択だと確信しています。大切に乘っていきたいと思っています。



●電車でGO●

2023年11月8日

今年は常磐線—千代田線—京成電鉄金町線を利用して柴又に行きました。



障害者の外出はそれぞれ大変なので10時15分の集合（駅ビルのエレベーターが使える時刻）です。時間通りに集まり、そのまま予定通りなら11時すぎには現地について昼食を空いているうちに撮ろうと計画していました。ところが、取手駅の段取りが非常に悪く、電車に乗るまでに30分以上かかってしまったのです。時間に制限はないので、これも駅対応の学習と話題。

電車に乗るまでに30分以上かかってしまったのです。時間に制限はないので、これも駅対応の学習と話題。

電車でGOで柴又に来るのは2回目ですが、前は寅さん記念館に行かなかったのので、今回のメインをそこに設定し、まず、ブラブラと記念館に向かいました。途中、山本亭というところがあり、記念館への通路になってたので入ってみました。山本亭は、地元ゆかりの山本工場（カメラ部品製造）の創立者である山本栄之助翁の自宅だったそうです。（近くに近代的で豪華な山本の表札がある家がありました）庭を通り抜けて寅さん記念館に着きました。玄関で集合写真。

中に入ると、懐かしい場面がいっぱい！ 若い人は来ないな！！ 寅さんは好きだけど映画館で見たことはなかったです。空路国内線の映画は必ずフーテン寅さんか武田鉄矢の『刑事物語』でした。テレビでも多く放送されてたし。そんなに大きな施設じゃなかったけど、十分に堪能できました。

記念館をあとにして、川千家に戻るついでに帝釈天を散策。平日のせいか、混雑していません。外国には馴染みのない寅さん？の場所なので外人さんは全くいませんでした。今、問題になっているオーバーツーリズムはありません。ここでも集合写真をワンショット。



1時すぎに川千家に戻りましたが、まだ満席です。お店が配慮してくれて、2階の宴会場のようなところに案内されて席を用意してくれました。一挙に貸切状態です！ ゆっくりと豪華な昼食！を摂りながら、しばしおしゃべりも楽しめました。みなさんとゆっくりと無駄話をする機会は殆どないので、とても良い時間でした。満腹でお酒も入ってご機嫌になって、川千家をあとにして参道で土産を買い、帰路につきました。

市議会議員との意見交換会

2023年11月11日

阿部と宮脇が議員との意見交換会に参加しました。

今、問題になっている移動困難者の支援について、問題定義と要望をしてみました。

議会でも問題になっているので、今の活きるの動きを伝えて、議会でも積極的に考えてもらえることを期待しています。

阿部からは、行政などからの重要な情報や災害情報が伝わりにくい高齢者ほどスマホを活用して欲しいが、気軽に教えてもらえるところがないので、先日の福祉まつりで情報管理課がスマホのよろず相談所を開設してくれたあのような機会を是非作っていただきたい。例えば、ふらっと健康相談のようにスーパーなど出かけた先でスマホ活用相談の機会があると高齢者は助かるのではないか。



新年会

2024年1月7日

今日、NPO 法人活きるの新年会を4年ぶりに開催しました。

ボランティアさんの減少やそれぞれの事情で4年前の回より少ない27人の方々が参加してくれました。しかし、ボランティアだけの事業でこれだけ多くの方が参加してくれているのはとても嬉しいことです。



理事長の久しぶりの挨拶と乾杯の音頭で会は始まり、美味しい料理とお酒が進むと、とても和やかでにぎやかで盛り上がりました。

この雰囲気、いい感じの活動をできることを期待しています。

障害者・児ボランティア入門講座

2024年2月28日

毎年、社協主催でやっている講座で、身体障害者の講座は宮脇が務めています。今年受講者は6人。年々、減っています。

講座の内容は宮脇が障害者支援活動に入るきっかけから生きるの活動内容、そして障害者との関わり方をいろんなエピソードを交えてお話ししました。

皆さん障害者の役に立とうという動機なので、熱心に聞いてもらえたと思います。時々脱線してジョーク交じりになると笑ってもらえてリラックスしてもらえたと思います。

後半は技術的な講座で車椅子の取り扱い方と介助技術について。せっかく来てもらえたので一つ抱えるトランス技術をマスターして帰ってもらいました。

総じてとても反応が良かったので、今後の活動参入に期待します。そして、宮脇も関わっている取手市のあいサポート運動の研修を受けた方が4人も居て、そのうちの一人はステップアップ研修も受講されてました。道理で熱心だったのに納得です！



移送サービス

(福祉有償運送事業)

運行実績

対象月	実利用者数(人)	実運転者数(人)	延べ送迎回数(回)	送迎料金(円)
令和5年4月	186	14	732	689,100
5月	178	15	728	647,000
6月	189	14	811	779,000
7月	172	15	713	645,000
8月	173	15	707	655,700
9月	163	14	682	646,800
10月	171	13	727	672,500
11月	165	13	720	672,900
12月	166	13	691	614,800
令和6年1月	147	13	586	532,700
2月	144	12	536	530,200
3月				
合計			7,633	7,085,700

令和5年はボランティアドライバーの激減で大変な1年でした。活動しているボランティアさんには無理を強いることになりました。また、ボランティア不足によって依頼予約をお断りすることも多くなり、受付の電話対応するのにもエネルギーが必要です。少しでもボランティアさんの負担を減らすために年中無休だった活動は日曜祝日をお休みにしました。

それらの環境変化で利用者様にはご不便をかけることも多くなりご期待に沿えないことが提供している我々もつらい1年になったと思います。今後もボランティアが増えることは期待できないので、利用者様のご理解をいただきながら、できることを継続していく予定です。

楽ちん介護

2024年1月21日

令和6年楽ちん介護の今日、天気予報は大雨または積雪でした。



朝起きたら、めちゃ寒くて、本降りの雨です！！この調子だと、誰も来ないかもと思って会場のあけぼのへ行きました。しかし時間になると、なんと続々と受講者が来られたのです。結局、6人の受講者のうち

5人はプロの方でした。再受講は2人です。

いつも通り、自己紹介と受講動機を言ってもらい、早速、始めます。内容は毎回同じです。お手伝いすれば立ち上がる人の立ち上がり介助から、かなり筋力低下している方のトランス、最後に全介助の方のトランスです。

機能が軽度の方の介助から始めるのですが、介助者にとっていちばん大変な技術です。みなさん、足がブルブル震えていて、きっと明日は太ももが筋肉痛でしょう。

重度の方の介助方法を、先生からコツを聞いて、それがうまくいくと、大変だった介助がいきなり簡単になるという驚きを感じられたと思います。

なかなか、一回の勉強で全てうまくいくわけがありません。2ヶ月ごとの開催ですが何度も受講して体で覚えることが大切です。



パラスポーツ

●チャレンジの広場

チャレンジの広場は障害者、健常者がスポーツを通して交流を図るイベントとして2014年に立ち上げてから4月で10年になります。ここまで続けてこられたのも参加者の方やボランティアの方のおかげだと感謝申し上げます。以前は競技内容もたくさんできていましたが、コロナ下で中止、競技内容の制限が現在も続いています。



現在のチャレンジの広場は会員限定でボッチャ、車椅子スラロームなどを行っています。今年は参加人数を緩和し、競技内容も徐々に増やして、より皆さんに楽しんでいただけるイベントにしていきたいと思います。

最後になりますが、日頃からチャレンジ広場の開催にあたり、ご支援、ご協力いただいている皆さんに厚く御礼申し上げます。

●日立市卓球バレー交流大会

2月12日に毎年恒例の卓球バレー日立大会が行われ、僕の所属している茨城卓球バレー愛好会も参加しました。大会はチャレンジクラスとイバラッキークラスの2つに分かれていました。愛好会はチャレンジクラスで3試合行いました。僕もチームのメンバーも会場に入る前は緊張しましたが、会場に入ると久しぶりに会う人や他のチームの人と話しをしているうちに少しずつ緊張がほぐれました。試合は審判の人のリードのおかげもあり、リラックスして試合をすることができました。結果は優勝でした。

最後に僕が卓球バレーを通して日々感じることは、仲間の大切さ、生きるのワクワクやたくさんの周りの感謝を感じるとともにスポーツの中でも卓球バレーは健常者と障害者が同じ立場でプレーできるところがいいと思います。これからも続けていきたいと思います。これからもプレイヤーとしても指導員としてもできる範囲で活動していき、もっと多くの方に卓球バレーの楽しさを伝えたいと思います。



地域福祉貢献

●行政

地域福祉計画策定委員、障害福祉計画策定委員、自立支援協議会、移送サービス運営協議会、市公募補助金検討委員、地域支えあいづくり推進協議会、あいサポート運動

●社会福祉協議会

理事、社協発展強化計画、社協ボランティア運営協議会、社協広報誌編集委員、各種講座講師派遣

●とりで障害者協働支援ネットワーク

代表、役員、広報

❤️ ありがとう ❤️

- 運転ボランティアさんより 50,000円、10,000円
- 運転ボランティアさんより 差し入れ多数
- 移送サービス利用者様より 10,000円
- 移送サービス利用者様より 差し入れ多数
- 配松の山田さんより 大量の玉ねぎ（販売して活動資金に充てる）

編集後記

編集担当 鈴木 澄利

2024年 令和6年 4月 1日発行
発行所 NPO 法人 生きる
発行者 染野 和成
編集者 鈴木 澄利
連絡 〒302-0022 取手市本郷5-4-21
TEL/FAX 0297-73-8361
ikiru7228@gmail.com
<http://npoikiru.stars.ne.jp/>
<https://www.facebook.com/npoikiru>

活動会員・賛助会員を募集しています

一緒に NPO 法人 活きるの活動に参加してみませんか
皆様のご参加をお待ちしています。

活動会員 個人・年会費 2,000円
団体・年会費 3,000円

賛助会員 個人・年会費 1口 1,000円 1口以上
団体・年会費 1口 2,000円 1口以上
(活動・賛助会員の総会議決権はありません)

振込先

- 郵便振替 00190-7-778948
- 口座名義 特定非営利活動法人 活きる